

ジムグリ

(学名: *Euprepiophis conspicillatus*)

(文 吉岡義雄)

【有鱗目ナミヘビ科】



▲ ジムグリの幼体。只見町に生息する本種は、黒紋が発達せず、図鑑に載っている典型的な体色とは異なる



▲ 成体の頭部。アオダイショウやシマヘビと比較して、目が小さい。このつぶらな瞳がチャームポイントである

ジムグリは、北海道、本州、四国、九州および離島に分布する日本固有のヘビで、主に森林に生息します。平野部でも見られるものの、山地に多いことが知られています。成体は地味な褐色のヘビですが、幼体は鮮やかな赤が美しいヘビです。また、腹面は特徴的な市松模様をしており、この特徴から元禄蛇と呼ばれることもあります。

漢字で「地潜り」と書く通り、地中に潜るのが得意なヘビです。主に小型のモグラ類や地中で繁殖を行うネズミ類を捕食すると考えられています。頭部が小さくて頸部がくびれず、上顎の先端部が下顎を覆うようにせり出すといった地中に潜るのに適した形態を持ちます。

只見町では、シマヘビとアオダイショウに次いで目にする機会が多いヘビです。生息地となる森林の面積が広いためであると考えられます。一方、全国的には宅地造成や太陽光発電施設の設置による生息環境の破壊により減少傾向にあることが知られています。

只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンターでは、下記の観察会を開催します。詳しくは、只見町ブナセンター (TEL 0241-72-8355) までお問い合わせください。

観察会「春から初夏の野鳥」

日時：5月29日(日)、6月26日(日) 9:00~12:00

場所：恵みの森、只見湖・新田沢

参加費：高校生以上400円、小・中学生300円

町内在住の小・中学生、高校生100円